

IBM Cloud Pak for Watson AIOps

IT運用のためのオートメーション・プラットフォーム
-AIの力で蓄積されたデータを活用-

信頼できる唯一の情報源 (single source of truth)

21世紀において、ITインフラストラクチャーは、企業や政府をはじめとする複雑な組織の中枢として機能しています。CIO(最高情報責任者)は、ITへの巨額の年間投資を管理し、コストをコントロールしながらシステム利用部門にイノベーションや新たなテクノロジーを提供するという、これまで以上のプレッシャーにさらされています。今日のテクノロジー主導の状況では、ごわずかなシステム障害でさえ、大きな経済的影響を引き起こす可能性があります。ITリーダー達は、ダウンタイムで最も損失の大きな局面は、53%が収益の損失、47%が生産性の損失、41%が企業の評判に対する悪影響だと答えています。¹

ITチームは、トポロジー、ログ、チケット、アラートなどから取得したデータを集め、システム障害の予測を高めようとしながら、解決しています。データ・ソースはさまざまであり、かつツールが統一されていないことから、チームはいまだに一つにまとめられた情報をもとにシステム障害に対処するということできていません。

ある問題が検出されると、チームは複数のプラットフォームからメンバーに通知し、ネットワークの標準ランブック(運用手順書)に従って問題を診断します。多くの場合、ITチームは、時系列に沿ったツールを使って作業しますが、システム障害に関する情報を既存のコラボレーションツールの中で、一元的に見ることができません。

53%

のITリーダーがダウンタイムで最も損失の大きな局面の1つとして収益の損失を挙げています

47%

のITリーダーがダウンタイムで最も損失の大きな局面の1つとして生産性の損失を挙げています

ハイライト

- 予測困難なIT運用で、ITシステム障害に事前対応する
- 構造化データと非構造化データを任意のクラウド上でマージする
- 複雑なマルチクラウド環境とマルチベンダー環境を管理し、お客様のITプラクティスを容易に対応する
- 既存のChatOps環境内で洞察を明らかにする
- 価値実現までの時間短縮に事前学習済みモデルを使用し、迅速に洞察を導き出す
- 提示された決定事項と推奨事項を説明する

IT チームの負荷を軽減した 新たな運用の世界

世界中の IT プロフェッショナルは圧倒的な量のデータを前にしながら、そこから真に重要な洞察を見いだすのに苦労しています。SRE (Site Reliability Engineer) は、ともすると必要なデータ・ソースの選別に大部分の時間を費やしてしましますが、その時間を他の重要な業務に使いたいと考えています。

IT チームは複数の部門にまたがって迅速に運用できるように俊敏性が求められています。システム障害が発生すると、IT プロフェッショナルは問題を診断し、運用手順書に沿って危機管理計画を策定します。

一方、SRE には運用手順書が推奨する対応についての根拠が提示されていません。SRE は問題の解決に向けて多数の解決策を試みますが、どれが一番解決できる可能性が高い方法なのかを知りません。

IT に AI の力を

チケット、ログ、アラートなど、さまざまな IT データを集約するプラットフォームへの需要が高まっています。これに応えるため、IBM は IBM Cloud Pak for Watson AIOps を開発しました。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、IBM Research の 120 を超える特許にささえられ、自然言語理解 (NLU)、機械学習 (ML)、自然言語処理 (NLP) といった最も優れた IBM Watson テクノロジーを活用しています。これには、強力なイベント管理、異常検知、イベント・グループ機能が含まれています。IBM Automation プラットフォーム上で稼働し、あらゆる企業に不可欠なソリューションです。これにより、アプリケーションまたは IT インフラストラクチャーに関わるどちらの問題も正確に検知・診断し、ダウンタイムを削減して、ブランドを守り、利益向上を支えます。

機能

インシデント・ソリューション

多岐にわたる構造化および非構造化のデータソース全体からシグナルを特定・収集します。

アプリケーション運用

ダウンストリームの依存関係を特定し、障害を事前に回避するよう自動化します。

可観測性

データを使用して、すべての作業単位でのログ、メトリクス、依存性マップの透明性の高いビューを作成します。

ガバナンスとコンプライアンス

ポリシー違反やガバナンス・イベントでの異常を検知し、ランブック (運用手順書) を自動化して自動的に実装できるようにします。

コスト管理

コスト・モデルを定義して、自動化によりインフラストラクチャーとアプリケーションの実装を最適化します。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps はログ、チケット、アラート、トポロジーといったデータにアクセスし、既存のツールチェーンと統合されます。予測モデルを活用して、アプリケーション・ログの異常とメトリクス・ベースのアラートを繋ぎ、問題の可能性と特定箇所をマッピングします。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、AI を搭載したアプリケーションであり、CIO のワークフローを強化します。そのために、IT 環境全体から得たデータやエビデンスを活用し、また ChatOps を介して業務に極めて重要なイベント (事象) をチームへ伝えます。これは IT オペレーターと緊密に連携することができ、異常を診断して、インシデントを解決します。さらに、お客様が選択した IT ツールセット全般から浮き上がってきた洞察についての説明を提示するので、IT オペレーターは今後同じ種類のインシデントがあった場合の解決策を自動化できます。

世界中の企業にとって最大の関心事が、AI 予測と AI モデルで信頼と透明性を実現する能力であることに変わりありません。IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、相関関係、因果関係、パターン識別により、明確な推奨事項を提供します。

今こそ、次の IT システム障害に備える

CIO オフィスは技術投資やシームレスな統合による効果を即座に求めます。IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、IT 運用分野における問題を対象とした、根本原因の分析のためのすぐに使える AI モデルを提供します。このテクノロジーは既存の IT 運用ツールと統合でき、AI モデルのカスタマイズを可能にします。この製品で、企業は、異種システム全体にわたり、リアルタイムに異常の評価、診断、対応を行い、企業の信頼性と可用性を向上できます。それがひいては、投資に対する大幅な利益と、オンラインでの自社の評価の維持につながります。

IBM は包括的な洞察をリアルタイムに提供し、また対話的なエンゲージメント・エクスペリエンスを創出することにより、安心感をもたらし、ビジネス・ワークフローを迅速にします。IBM Cloud Pak for Watson AIOps を使用すると、IT チームは、単により多くのデータを得るのではなく、洞察を得ることができます。これによって、より迅速な開発サイクルにも運用が対応できるようになり、財務目標を超えるだけの力を蓄えながら、スキル要件を減らすことができます。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、企業の AI ファースト戦略の実行を支援し、データの運用とワークフローの変革を可能にします。IBM の AI を搭載した洞察を得るためのプラットフォームを IT 環境と開発ツールチェーン全体で利用することで、これからの CIO は、企業内エクスペリエンスの変革と、リスクの低減を実現するとともに、顧客の期待を上回り、そして価値を生み出せるようになります。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps 特長とメリット

機能	メリット
オープン・プラットフォーム	デプロイ先を選べます。 選択したクラウド上または希望するデプロイメント・オプションで利用可能です。
ツールチェーン統合	ほとんどのコラボレーション・プラットフォームへ接続可能です。 ChatOps 機能で直接アラートを配信します。
実行可能な洞察	実行可能な洞察を提示し、対応を改善します。 大量の構造化データと非構造化データを複数のサイロ型システムやツールを越えてリアルタイムに関連付けることで、隠れた洞察を明らかにし、根本原因をより迅速に見つけ出します。
予測モデリング	データの全体像を明らかにして、問題を迅速に診断します。 アプリケーション中心の手法により、さまざまなコンポーネントにおけるビジネスへの影響を明確にします。現状では IT オペレーターは、トポロジー、ログ、チケット、アラートからのデータの精査に多くの時間を費やしています。IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、異常を明確に表示するとともにソースへのリンクも提供して、迅速に調査して解決できるようにします。
インテリジェント・ワークフロー	一貫性のあるアプリケーションとデプロイメント・ポリシーを定義し、よりインテリジェントなワークフローを実現します。 ハイブリッドなマルチクラウド環境でのセキュリティーの自動化とは、カスタム・コーディングに依存したり複数のソフトウェア・パッケージや手動プロセスで作業したりするのではなく、リソース全体でポリシーを一貫して実施することを意味します。

まとめ

IBM Cloud Pak for Watson AIOps を使用すると、IT 運用の中核に AI を据えて、すべてのビジネス・ワークフローに適用し、アプリケーションとインフラストラクチャーの管理を集約できるようになります。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps は、IBM が持つエンタープライズに関する豊富な専門知識を、基幹業務を支える複雑な IT 環境の管理に活用できるようにします。お客様が、効率の最大化とコストの削減、さらには効果的なイノベーション推進に必要なレジリエンシーとセキュリティの維持を実現できるよう、IBM はお客様の IT 運用における AI の活用を支援いたします。

IBM Cloud Pak for Watson AIOps は共通オートメーション・サービスのセットである IBM Automation プラットフォーム上で稼働するソリューションです。プロセスを実行してホットスポットとボトルネックを可視化し、財務的影響についての情報を活用し、早急に取り組まなければならない問題の優先順位付けなどに、洞察を提供します。

お問い合わせ

IBM Cloud Pak for Watson AIOps の詳細は、IBM の担当者または IBM ビジネス・パートナーに連絡していただくか、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/jp-ja/cloud/cloud-pak-for-watson-aiops

IBM を選ぶ理由

IBM Cloud は、最もオープンかつ安全な企業向けパブリッククラウド、次世代ハイブリッド・マルチクラウド・プラットフォーム、データおよび AI の先進機能、20 の業界にわたる深い企業向け専門知識を提供します。

IBM は、データ、コンテナ、AI、IoT、ブロックチェーンをカバーする 170 を超える製品とサービスによるフルスタック・クラウド・プラットフォームを提供します。詳しくは、次の Web サイトをご覧ください。ibm.com/jp-ja/cloud

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19-21

IBM のホーム・ページは以下をご覧ください。

ibm.com

IBM、IBM ロゴ、IBM Cloud Pak、IBM Research、および IBM Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://ibm.com/trademark> をご覧ください。

本資料は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

適切なセキュリティの実施について: IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの防止、検出、および対応によって、システムや情報を保護することが求められます。不正アクセスにより、情報の改ざん、破壊もしくは悪用を招くおそれがあり、またはシステムの損傷や、他のシステムへの攻撃を含む悪用につながるおそれがあります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一製品またはセキュリティ対策が、不正アクセスを防止する上で、完全に有効となることもありません。IBM のシステム、製品およびサービスは、合法的で、包括的なセキュリティの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が伴います。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。

お客様は自己の責任で関連法規を遵守しなければならないものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしません。また、IBM のサービスまたは製品が、お客様がいかなる法規も遵守されていることの裏付けとなると表明するものでも、保証するものでもありません。

© Copyright IBM Corporation 2021

- 1 The Real Costs Of Planned And Unplanned Downtime *Forrester opportunity snapshot: a custom study commissioned by IBM*, 2019 年 8 月。
ibm.com/downloads/cas/L57KW7ND (英語)

XXKLBBGN

